

新フェリーバースの完成により 九州の玄関として地域振興

さ が の せ き

file24 佐賀関港

対象施設 古宮地区内貿ターミナル(フェリー) 岸壁(-4.5m)
供用 平成15年

フェリーバースの完成によって、佐賀関～三崎のフェリー航路の利便性が向上し、転送台数が増加。既存のさん橋とあわせ、2バースとなったことにより、沖待ちの解消、ダイヤの効率化、繁忙期の臨時便設定が可能となった。

これによって効率的なフェリーの運用ができ、利用者の利便性も高まった。



●航送台数の増加

平成14年(整備前)

輸送車両数127,392台 乗客182,000人



H15/H14 = 1.07

平成15年(整備後)

輸送車両数136,319台 乗客358,000人

